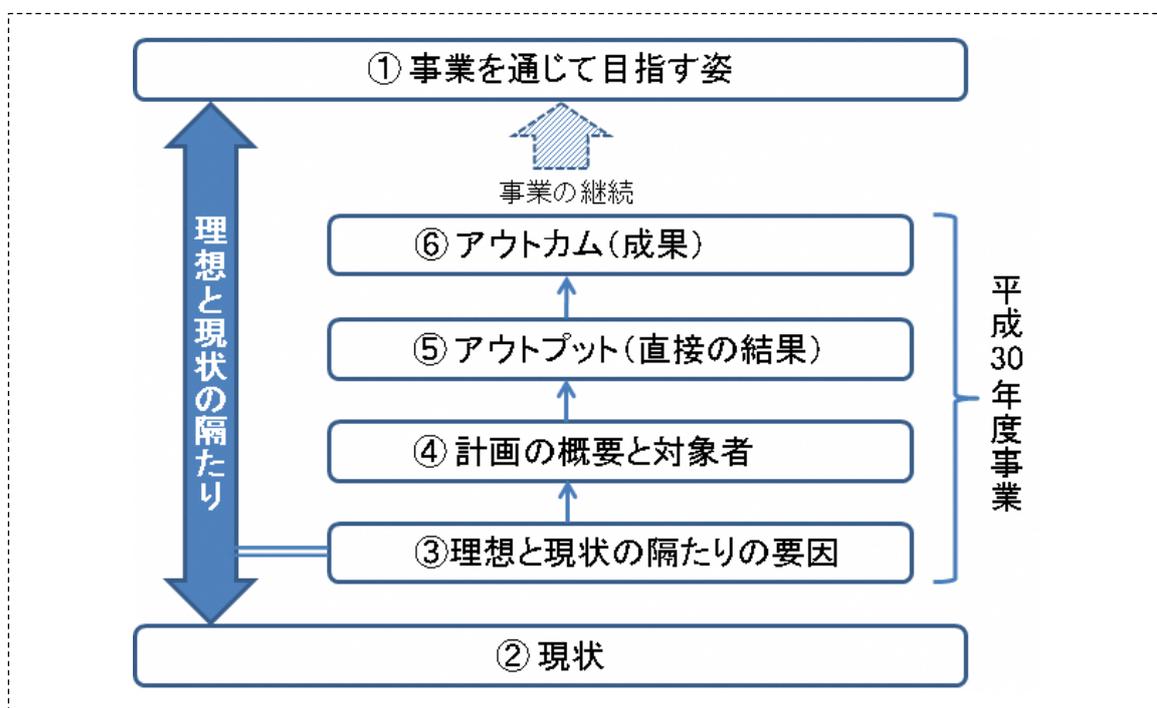


事業計画書

事業名	若者地域参加活動創出事業～若者の中間的就労支援は MammaCafe から～
団体名	「倉敷のかあさん」MammaCafe

記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

- ・若者の社会参加のきっかけとなる、地域に開かれた中間的就労の場の提供と継続。
- ・若者の活動経験が働くことへの自信につながる。さらに、いくらかの報酬を手にする事で働く意欲にもなり、次のステップへとつながる事。
- ・就労支援へつながるサポートの場づくり、情報交換と連携強化。

2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

ひきこもりやニート状態にある若者は、自分に自信を無くしている場合が多い。社会参加をしたくてもなかなか一歩が踏み出せない。この様な若者たちが、色々な人たちと触れ合ったり、関わったりすることで、また出来ることから少しずつ始めることで自信が付き、アルバイトを始めたりなど、社会参加のきっかけとなる中間的就労の場が必要である。その若者にも段階がある、それぞれの段階、また色々抱えている諸問題にあった対応が必要である。しかし、ゆっくり丁寧に関わる場が、無い。

倉敷の中心市街地は、高齢化が進み高齢者が孤立化し、老人の引きこもり者が増えていく。また、東町の町内のかたがたとの情報交換及び、連携が必要である。そこで、ご近所の方々が集える場所が、必要である。

また、美観地区には、高級な食事が出来る店はたくさんあるが、小さな子どものいる家族連れや単身者が、郷土食や家庭料理を安心して手軽に食べられる店が少ない。

その上、最近海外から観光に来られた方々も多く見られる。海外の方にも四季折々の郷土食や家庭料理を通じ、日本の文化に触れて頂く事も必要である

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

カフェやレストランなどでは、就労体験の様な事をする余裕がない。

自信を無くしている人たちに关われるノウハウが必要。

就労体験をするための、情報がない。

美観地区が、観光化されている。

4 計画の概要と対象者（平成 30 年度）

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150 字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記 7 に記入してください）。

- ・不登校やひきこもり・ニート状態にある若者が、自信をつけるための体験ができる中間的就労の場の企画・運営。また、他の団体との情報交換の場づくり。
- ・地域の高齢者、家族、単身者など誰もが参加しやすい場の継続。

6 アウトカム（成果）

上記 5 のアウトプットが、平成 30 年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

- ・就労体験をしようとする。
- ・就労体験者が、次も来るようになる。次への（例えば、アルバイトを探したり就活をしたり、学校復帰）への動きを起こす。
- ・「若者を語る会」への参加者の増加。情報交換ネットワークのが、密に出来る様になる。
- ・中間的就労体験ができる企業やお店が増える。
- ・このような若者たちへの理解が深まり、彼たちを雇用する企業やお店が増える。

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

中間的就労の場としてランチ提供のカフェ開催

《就労体験の主なメニュー》

- ・カフェでの調理補助、配膳、接客、レジ
- ・チラシ等の作成補助、配布（ポスティング）
- ・ワークショップの運営協力
- ・準備、掃除、片付けなど

それぞれに合ったできることから少しずつ働き始めるきっかけとなる。

《カフェ内容詳細》

- ・場所 倉敷市東町、NPO 法人倉敷町家トラスト事務所
- ・毎月第 3・4 日曜日 11 時 30 分～15 時 30 分 年間 24 回
- ・体に良い、昔から食されている「一汁一菜食」を中心としたメニューにこだわる。
- ・地産地消、家庭菜園などから提供してもらった材料を中心に使用。
- ・ランチ代金 650 円～+
- ・ご近所のかたへは、100 円お引きする。チラシ及び情報誌を毎月発行
地元の方々の集まりやすい場の提供を目的とする。
- ・ご近所の方への弁当注文と配達

カフェ開催時に 2 回の体験型ワークショップ

参加費 第 2 回は、材料費（実費）

ワークショップ 若者も参加しやすい形の季節の行事

(2)

第 1 回「七夕飾りを作ろう」
倉敷伝承地区をまもり育てる会に協力
カフェ利用者に七夕飾りを作って、月遅れの地域の祭りを知ってもらう

第 2 回「正月を祝おう」正月用品の作成
社会に馴染みにくい若者は、イベントが出始めるきっかけとなる事が多い。
「若者を語る会」3 回開催
カフェの紹介も兼ね、居場所としての利用も促す。回を重ねて情報交換や連携組織をつくる。それぞれにあった対応ができる様、連携をしていく。
参加費 300 円（お菓子とお茶代）
6 月、10 月、2 月の 3 回を予定。
若者の働いている姿を見てもらう。
四季折々の郷土食をランチメニューに取り入れる。
5 月「春の郷土食・春寿司」
8 月「夏の郷土食・ぶっかけ麺」
9 月「秋の郷土食・祭り寿司」
2 月「冬の郷土食・ふな飯」
地元で伝わる季節折々の家庭料理を取り入れる様、心がけている。
NPO 法人倉敷町家トラスト事務所は、温かくゆっくりできる雰囲気がある。そこで、色々な人達が集えるコミュニティーの場所作りをする。また、倉敷美観地区にあり、地域の伝統的な文化を伝える事が出来れば良いと思う。これからの運営をしていく上での活動の基盤づくりとして行く事を目的とする

(3) スケジュール（準備～実施～報告）

4 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催
5 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催
6 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催・「若者を語る会」開催
7 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催
8 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催 ワークショップ 第 1 回「七夕飾りを作ろう」
9 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催
10 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催・「若者を語る会」開催
11 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催
12 月	第 3・4 日曜日	ランチ提供のカフェ開催

様式第 2 号

	ワークショップ 第 2 回 「正月を祝おう」
1 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催
2 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催・「若者を語る会」開催
3 月	第 3・4 日曜日 ランチ提供のカフェ開催

(4) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
坂ノ上順子	調理員、相談員	有
野瀬英子	調理補助、相談員	有
神宝美香	調理員、相談員	有
中田すみよ	調理員、相談員	有
堀口美代子	調理補助	
多賀真由美	調理補助	
大倉英子	調理補助	
藤原由季子	調理補助	
原田政江	調理補助、	
10 名を超える場合は、外 名としてください		外 () 名

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する (見込み：ワークショップ参加会費、材料実費)

(2) 徴収しない(理由: _____)

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円) ₂	積算根拠
受益者負担	若者の会参加費	18,000	300円×20名×3回
会費からの繰入		89,000	
その他	ヲシ売上	558,000	550円×5名×24回 + 650×5×24 850×10×24 + 750×5×24, 1000×5×24
市補助金		500,000	
収入合計		1,165,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円) ₂	積算根拠
人件費(会員) ₁	スタッフ人件費	32,000	900円×6h×2人×24回
交通費(会員) ₁	スタッフ交通費	18,000	750円×1人×24回
人件費(アルバイト等)	若者のアルバイト	313,000	750円×4h×24回×3名 900円×4h×24回, ネット管理費10千円
謝金(講師等)	ワークショップ謝金	10,000	5000円×2回
旅費交通費(講師等)	ボランティア交通費	24,000	500円×24回×2人
消耗品費	案内・メニュー印刷、 WSや加工の消耗品	80,000	紙・インク 20千円 消耗品 50千円, その他 10千円
印刷製本費	チラシ	65,000	団体紹介チラシ印刷費込み 54千円・イベント チラシ作成 11千円
通信運搬費	案内送付	5,000	切手 82円×30枚 + 62円×30枚
保険料	ワークショップ	2,000	保険加入 560円×2回
使用料・賃借料	年間使用料	72,000	2000円 + 1000円(光熱費)×24回
対象経費計		621,000	
食糧費	加工材料	266,000	食材 300円×30食×24回 + 消耗品
人件費		228,000	900円×6h×2人×24回
その他		50,000	
対象外経費計		544,000	
支出合計		1,165,000	(収入合計と一致)